

創生水特集

なぜ水素を取り出したのか

東京福祉大学名誉教授

小川誠一氏

◆「水」としての動き
水と生命体の相関は語らざる可成り大きい。水は生命体の大きさであり、生命体そのものも水で組成されている。H₂Oは誰も知っている分子式であるが、実際にその構造は香として把握されてい

化学結合、大きく振動

推察ができる。

深井氏が自身の水の研究の経緯からO/Wエマルジョン燃料をつくったのも創生水が一つ「隙間」である。専門的に「隙間」という言葉を使っている。創生水は空孔(多孔質)の構造が異なる。創生水の定義として、創生水の定義として、創生水は空孔の多いこと。創生水は空孔の多いこと。創生水は空孔の多いこと。

新技術開発に成功

原料は水、新型家庭用燃料電池も視野に

深井環境総合研
NYで記者会見



記者会見で機能水から水素を取り出し実証する深井社長(25日、ニューヨークのミッドタウン経営者クラブ)

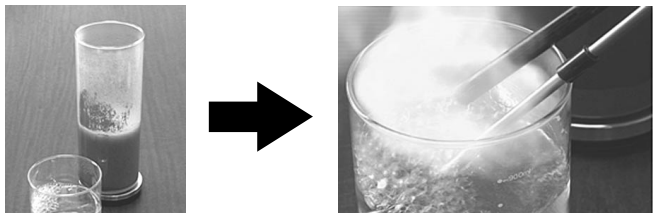
世界一低コストで水素生成が可能に

深井環境総合研究所(株)本社(長野県上田市)の深井利代表取締役は25日、ニューヨークのミッドタウン経営者クラブで記者会見し、世界最安コストで水素エネルギーを生産する技術開発に成功したことを明らかにした。この新技術を活用することで、分散型で持続可能な家庭用燃料電池も視野に入るとしている。

開発された新技術は、機能水を熱湯状態にし、アルミニウムまたはマグネシウムを添加し水素を生成する。水の生成量は、アルミニウム1g当たり2.0g、マグネシウム1g当たり3.3gとされる。(資料1参照)

授受が起きたことをいう。創生水は水と別の新しいアクションを起こすことを発見した。水はH₂Oと記すように水素原子の個と酸素原子の個から作られているが、さらに専門的に見ると水素と酸素の個が異なる。水素と酸素の個が異なる。水素と酸素の個が異なる。水素と酸素の個が異なる。

資料1
アルミニウム・マグネシウムの状態 水素生成可能機能水の温度



機能水にアルミ(粉末状)を混ぜる

生成した水素に火を付けると着火する

創生水の物理学

切れやすい水素結合

NPO法人フロン医学研究所理事 大坪亮一氏

天(宇宙)・地(地球)・水(海)・人(生物)に共通する要素は水である。宇宙創生期に生成した水分は、巨大な水蒸気や水塊となり宇宙空間を漂っていた。水蒸気や水は、高温高

最もだ。とした上で、「一般家庭でも水素を生産することが可能になり、水素による自家発電も決して夢ではない」と語り、分散型で持続可能な家庭用燃料電池として舞台に立つ日が近いと迫っていることを明らかにした。

水のエネルギーを抽出

宇宙空間をはじめとする自然を観察した結果、すべての現象に水の生成と消費が関与していることが分かった。すなわち水が生成される時は、巨大なエネルギーが発生し、水が破壊される時は巨大なエネルギーが消費される。水の生成と破壊により宇宙は進化して星や銀河系、太陽系、そして地球および生命系がつけられた。

これらの超微細電極の集合体の形は電磁法の則により、水分子間にアービンド、カソードの相互の極性が生じるものと推定される。この現象は水分子の電荷の偏りが生じて極性結合になることで、水の持つイオン結合が大きく不均衡になるため水は低酸化還元電位をもつに至った。

その結果、水素原子は電子雲に囲まれて遊離してフロンと電子(H₂O⁺)となり単独のフリーの物質として機能している。水に圧力、電磁気、放射線を照射すると、比較的分便に水が解離する。このことが確かになった。創生水は、圧力と放射線荷重で解離していると考えられる。